

○刺し子・本藍染・草木染の小売／卸売

（株）自然堂 営業案内

当社は、本藍染・草木染の布や刺子材料と、それらによる服やインテリアなどの製品の製造及び販売（卸し・小売）を主体に営業を致しております。ほとんどの商品が当社のオリジナルで、製品はすべて直線裁ちの手縫仕立てで布の良さとやさしさを表現してあります。小売店として『銀座亜紀枝・藍染と刺子の店』を、各地に展開させていただいております。

東京都檜原村の本社屋は200年前の民家を移築したもので、『銀座亜紀枝刺子館』『大庄屋ざしき』が併設されております。

〔営業理念〕

当社は、自然な暮らし（衣・食・住）の生活習慣をテーマとして、自家製のもめん生地（本藍染・草木染）及び糸、また、それらから直線裁ち・手縫いで製作したオリジナルな作品群の御提案を主体に事業展開致しております。

当社会長・銀座亜紀枝（本名・坂本亜紀枝）は、子供の頃から貫してもめんの着物を愛用しておりました。1972(昭和47)年頃から洋服作りを始め、まもなく手縫いの服に開眼し、「手づくりの着物のこころを現代に活かす服」を製作することになりました。意外にもお客様方の支持を得て、今日に至っております。この間、1955(昭和30)年前後には、自然食運動の草分けである、桜沢如一の主宰するM. I. 塾（現・日本C. I. 協会）にて活動しました。以来食生活においては玄米を中心とした自然食を行ないながら、「宇宙の秩序」に沿った自然な形での生活を目指しております。一方で銀座亜紀枝は、学生当時より柳宗悦の民芸理論に傾注し、無心の手によるさまざまな実用の造形の美しさを求めてまいりました。居宅でもある檜原村の本社は、新潟県から移築した、200年を経た旧大庄屋さんの建物を現代風に改築したものです。また、各店舗の陳列什器には、当社で設計したケヤキの民芸家具を使用しております。

当社はこれからも、単純な「懐古」「自然回帰」といったものから脱皮した、現代の多くの方々を受け入れられるような、新しい形での衣食住、『手づくりの暮らし』の実践の数々を御提案していきたいと思っております。

〔本藍染・草木染と刺子〕 ――布、糸、作品――

当社の本藍染・草木染は、混じり気のない天然染料を使用し、すべて当社の企画のもとに協力工場において製造したものです。原料となる綿糸・染料等の手配も当社で直接行ない、工場に送付しております。また、完成した布は一度水通しをしてあり、刺子用の糸と一緒に、お客様が御自宅ですぐに製作なさることが出来ます。

当社の作品は、これらの水通し済みのもめん生地から、オリジナルパターンの直線裁ちによって裁断し、すべて手縫いによって自社縫製・加工致しております。「手縫いの服（本当の手づくり）」として、室内着のみならずワンピース・コート等の外出着としても幅広い品揃えがあり、大変好評でございます。

なお、各店の店頭においては、デモンストレーションといたしまして、当社の販売員が手縫いの作品づくりを実践しております。また、お買い求めの材料の製作について簡単な御説明も承っております。

〔銀座亜紀枝刺子館〕

当社の本社屋は、新潟県上越市（旧・東頸城郡牧村）の200年ほど経た旧大庄屋(西條家)の屋敷を移築したものです。1988(昭和63)年6月より土地造成より着手、1993(平成5)年11月、丸五年を費やして完成しました。

○銀座亜紀枝刺子館（2・3階）
会長である刺し子作家・銀座亜紀枝の代表的な手縫い作品を常時展示してあります。
○旧大庄屋ざしき（1階）
移築当初は西條家の居間等を、そのまま再現しましたが、2011(平成23)年5月に板張りに改装しました。18畳、7.5畳、10畳、6畳と控えの間があります。また、「銀座亜紀枝・自由律俳画室」があります。俳人でもある銀座亜紀枝の、俳画14点を展示。「女山頭火」といわれた自由律俳句の世界をお楽しみいただけます。
○喫茶（1階）
コーヒーなど、お飲み物。
○売店（1階）
当社の刺子全般のうち、材料中心に多数販売。

〔刺子学園〕 ――教室及び、手縫いのデザイン・製作――

一般の方むけの刺子教室と、当社の店舗で販売する本藍染・草木染の作品のデザイン・製作を行っているのが『刺子学園』です。

刺子教室は関東、関西の各地で展開中です。直線裁・手縫仕立による本格的刺子教室で、師範科まで卒業されると刺子講師への道も開けます。詳しくは別紙専用パンフレットをご覧ください。

また、東京都八王子市にある高尾店と横浜市中区桜木町にある横浜店では、月2回、お針子の皆さんに集まっていただき、当社の製作チームの指導のもとで、手縫いの作品づくりやアクセサリー等の製作の打ち合わせをしています。実際の製作は各自自宅で行ない、製作高に応じて加工賃を支払う形をとっております。

〔社歴〕

○1972(昭和47)年、東京都八王子市上柚木において、自然食の小料理屋、初代「むぎめし茶屋」を開業。
○1974(昭和49)年、「むぎめし茶屋」内に藍染の「もめんの店」を開店。
○1978(昭和53)年、「むぎめし茶屋」を休業し「もめんの店」のみとなる。
○1980(昭和55)年1月、八王子市明神町に移転。
○1981(昭和56)年1月、「刺子の店」を出店。この年以後、各地に順次出店。
○1985(昭和60)年7月、有限会社となる。
○1991(平成3)年5月、株式会社に組織変更。
○1993(平成5)年1月、本社を東京都檜原村に移転。
○1993(平成5)年11月、本社内に「刺子館」を開館。

〔会長・銀座亜紀枝略歴〕

1931(昭和6)年1月25日　愛媛県八幡浜市生まれ
1954(昭和29)年・・・女子美術大学工芸科卒業。染色と織物を専攻。
1976(昭和51)年8月・八王子大丸にてもめんの女展のなかで刺子作品を紹介。以後、1981(昭和56)年まで「刺子展」を銀座・赤坂・新宿で計16回開く。
1987(昭和62)年・・・『刺子のドレスと小物』（マコー社刊）を出版。
1992(平成4)年10月・・・『刺し子の技法』（美術出版社刊）を出版。
2007(平成19)年4月・・・『刺し子で遊ぶ』（マコー社刊）を出版。
◎この20年余の間に刺子と手縫のテキストを約40冊及び刺子図案集40巻を著す。
◎刺子作家・各カルチャーセンター講師、(株)自然堂　代表取締役会長。
※本名　坂本亜紀枝（旧本名　坂本辰子）

〒190-0223東京都西多摩郡檜原村南郷6128	電話042-598-6200
	FAX042-598-6181

株式会社**自然堂**（午前9時～午後5時・定休日/毎週水曜及び第1,3,5火曜および年末年始）
〔銀座亜紀枝刺子館〕
上記本社内　営業日時も同じ。
ホームページ　http://www5a.biglobe.ne.jp/~sashiko/
 刺子館
 検索
電子メール　zle20151@biglobe.ne.jp（上記ページ内にも記載有り）

〔銀座亜紀枝の藍染と刺子の店〕

○定休日・営業時間は各店によって異なりますので、ホームページをご覧ください。

高尾店・八王子市/高尾駅高尾名店街1F	奈良店・下御門町32町家空閑2F(ならまち近く)
電042-668-3456	電0742-26-8666
横浜店・桜木町びおシティ地下1階	倉敷店・本町6ー22(美観地区)
電045-651-0432	電086-427-0222
川越店・連雀町16-5(大正浪漫夢通り)	
電049-223-5508	

〔刺子学園・銀座亜紀枝刺子教室〕

銀座・エコールプチビエ	川崎・読売日本TV文化センター
池袋・西武コミュニティカレッジ	横浜・読売日本TV文化センター
錦糸町・読売日本TV文化センター	・桜木町　刺子の店内
北千住・読売日本TV文化センター	茅ヶ崎・ヨークカルチャー
宇都宮・読売日本TV文化センター	
大宮・読売日本TV文化センター	枚方・リビングカルチャー倶楽部
深谷・深谷カルチャーセンター	堺・鳳・セブンカルチャークラブ
上尾・ヨークカルチャー	京都・四条烏丸JEUZIAカルチャー
川越・連雀町　刺子の店内	醍醐・醍醐カルチャーセンター
取手・取手カルチャーセンター	草津・滋賀リビング・カルチャー倶楽部
千葉・朝日カルチャーセンター	奈良・下御門町　刺子の店内
高尾・八王子/高尾　刺子の店内	舞子・神戸新聞文化センター
調布・調布カルチャーセンター	加古川・神戸新聞文化センター
相模原・相模大野カルチャー	
	倉敷・美観地区　刺子の店内